

この山に登ろう⑬

歴史の山城に登る

ひのやま
火野山 (日野山、日山)

705.4m

北広島町 新庄、中山、志路原^{しじはら}



写真9：頂上本丸からの石見冠山

広島県山岳連盟 事業部長 **松島 宏**

火野山は毛利時代の山城の遺構の残る、歴史の匂いのする里山です。千代田から大朝に越える中山峠に火野山登山口があります(写真1)。毛利元就の次男、吉川元春の居城と言われています。登山口から標高差300m、往復3km。ゆっくり歩いても往復2時間、気楽なハイキングコースです。歴史の息吹を

感じる山でのハイキングをお薦めします。

登山口に行く前に、車で北広島町^{かいおうじ}海応寺の吉川氏城館跡の吉川元春館跡展示室(入館料大人300円)と万徳院跡(無料)に寄れば、登山がより一層楽しくなります。特に、万徳院跡ガイダンスホール「青松」は山中にポツンとありますが、素晴らしい施設で展示、休



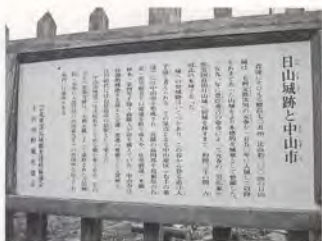


写真1：中山峠入口の説明板

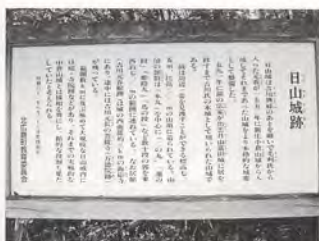


写真2：登山口の看板



写真3：登山口駐車場



写真4：谷筋の道

憩コーナー、トイレが完備され、ビデオを見ることができます。海応寺から火野山への城道もあったらしいのですが、現在は荒れて藪になっているようです。

さて、いよいよ登山です。国道261号線の中山峠に登山口があります。登山口の看板は「日山城跡」となっています（写真2）。中山の名水の看板と一緒に置いてあります。自家用車なら200m奥の駐車場まで上がれます。車は4～5台置けます。仮設のトイレもあります（写真3）。

道標に導かれながら谷沿いの林道を進みます。砂防堰堤のある辺りから山道となります。谷の中を進み（写真4）尾根に出た標高610mの場所が米蔵です。米蔵の一段上が中城です（写真5）。櫓台の岩もあり監視の郭と想定されています。

尾根を行かず南の斜面をトラバースし（写真6）、尾根にもう一段上がったところが標高670mの大門です。尾根は広く平らになり山城が想像できます。左のピークが二の丸、大広間の段の最後に高さ2mの大土塁があり中の丸に上がっていきます。ここに立派な古

い石積みがあります（写真7）。頂上の本丸は広く（写真8）、三角点があります。頂上からは眺望が良く、北側にはひときわ高く石見冠山がそそり立っています（P20、写真9）。はるか彼方に大江高山も見えます。すぐそばの寒曳山は台形状で、簡単に分かります。樹木越しに阿佐山が見えます。頂上から南に下ると出丸があります。豊平方面が一望できる展望台です。頂上本丸から北に伸びる尾根の先に三の丸があります。当時の立派な山城の建物を想像するだけでもワクワクしてきます。

下りは来た道を引き返しましょう。枯葉の下の木や根や石に気をつけながら、ゆっくり下山してください。道の細くなっている場所や急斜面もありますので要注意です。沢筋の道も滑りやすいので気をつけてください。

山城の詳細な解説がインターネットに掲載されていますので参考にしてください。

（まつしま ひろし）

参考：

「吉川元春館」

（『北の城塞—秋田の中世を訪ねる—』より）

<http://zyousai.sakura.ne.jp/mysite1/kitahirosima/kikkawamotoharu-yakata.html>



写真5：中城



写真6：大門への登り



写真7：中の丸の石積み



写真8：頂上本丸